

報告

留学生のための水産学用語集作成の試み

守山 恵子

長崎大学留学生センター 852-8521 長崎市文教町 1-14

E-mail:mkeiko1@net.nagasaki-u.ac.jp

A Word List for Fishery Major International Students

MORIYAMA, Keiko

International Student Center, Nagasaki University, 1-14 Bunkyo-machi, Nagasaki-shi, 852-8521

長崎大学で水産学を専攻する留学生のために、専門用語の用語集を試みに作成した。この用語集の目的は、留学生が専門用語の漢字の読みを自分で調べることができるようにすることである。『水産学用語辞典』（日本水産学会編）をもとに、すべての見出し語を一文字目の画数と部首毎に整理し、一文字目の画数と部首から目的の語を探すと、その語の読み方と対応する英語がわかるようにした。また、見出し語の英語訳をアルファベット順に整理し、英語からも漢字表記とその読みがわかるようにした。このようなかたちの用語集はまだ改善の余地はあるが、実際に使った留学生たちにはおおむね好評で、留学生の実状と要求にかなったものであると考えられる。

キーワード： 専門日本語、水産学辞典、漢字の読み、画数と部首

1. はじめに

日本の大学院で研究を行っている留学生たちにとって、自分の専門で使われる漢字の読みがわからないということは、研究の大きな障害になる。漢字圏の留学生でも、意味は分かって読み方がわからないと、ゼミなどでの発表の準備に手間取り、また、他の学生の発表を聞いて理解することも難しい。

専門性の高い語彙の場合は、日本人でも読み方に自信がもてないことも少なくない。留学生が同じ研究室の日本人学生に読み方を聞いても、研究分野が少し違えばわからないこともあるというのも不思議ではない。また、忙しそうにしている先生や日本人学生を煩わせたくないと思慮する留学生もいる。

多少時間がかかっても、知りたいときに自分で読み方を調べたり、意味を調べたりしたいと望む留学生が少なくないことは、研修コース修了生にインタビューをした際にも^{注1}、また日常受ける相談からも明らかであった。大学院に在籍する留学生を対象としたアンケート調査でも、回答した64名のうち、専門日本語のクラスが必要だとしたものが33名、専門日本語の辞書が

必要だとしたのも33名と半数を超えていた。^{注2}

留学生が自分で使うことができ、また必要な情報が得られるような実用的な辞典づくりを考える際に、『漢方用語大辞典』^{注3}が参考になると思われた。『漢方用語大辞典』には「漢方用語」が五十音順に収録されており、見出し語に続けて、〔 〕の中にひらがなで読みもつけられている。しかし、「漢方用語」の読みは簡単ではなく、読みがわからないために引けないこともしばしば起こりうる。そこで、巻末に総画索引がある。これは、各語彙の一文字目の漢字の画数と部首による索引で、画数さえわかれば、そして部首もわかればさらに早く、目的の語の収録ページがわかるようになっている。

相談に来る留学生に、『漢方用語大辞典』を見せて使い方を説明し、同じような形の専門の辞典があれば使えると思うかということや、何が必要で、何が不要かをたずねた。その結果、漢字の読みがわかって対応する英語が分かればそれで十分に内容がわかる場合と、読みがわかって対応する英語がわかれば、英語の辞書でさらにくわしく調べる場合があり、どちらにしても、

漢字の読みを自分で調べることができるものがあれば、非常に役に立つということがわかった。そこで、手始めに『水産学用語辞典』^{注4}を使って、留学生のための用語集を試みに作成した。

なぜ、『水産学用語辞典』だったのかということについての主な理由は次の通りである。

1. 水産を専攻する留学生からの相談が他の専攻の留学生からの相談より多かったこと。
2. アンケート調査に答えた水産を専攻する学生のうち、9割を越える学生が専門日本語の用語集が必要だと答え、他の専門の学生より多かったこと。
3. 『水産学用語辞典』（収録語彙数 1,586）で水産学の基本的な語彙は網羅できると考えられたこと。
4. 水産学を専門とする留学生のための専門日本語の教材が見あたらないこと。
5. 長崎大学には水産学を専門とする留学生が比較的多いこと。^{注5}

2. 用語集の構成と意図

『水産学用語辞典』は、見出し語についての説明が目的であるが、留学生たちからの相談を受けるなかで、留学生には日本語での内容の説明はそれほど必要ではないことがわかった。内容はわかっても、日本語の読みがわからなくて困ったり、対応する英語が分かれば内容はわかるのに、それを調べるすべがないということが主要な問題であった。

また、『水産学用語辞典』には、英語索引もあるが、それとて漢字だけが書かれていて、読み方までは書かれていない。日本人にとっても読みが難しいと思われる

見出し語には読み方が書かれているが、読みが書かれている見出し語は限られている。

そこで、長崎大学の水産を専門とする留学生の私的利用を目的として、留学生のための用語集を作成することにした。

まず、必要だと思われる6項目を選び、見出し語一つ一つについて、ファイルメーカーPro.5を使用し、入力した。

- ① 見出し語
- ② 読み
- ③ 英語の意味
- ④ 見出し語の頭の漢字
- ⑤ ④の漢字の画数
- ⑥ ④の漢字の部首

ひらがな、あるいはカタカナの見出し語については、④～⑥は空欄とした。

この入力には正確を期すために、水産を専門とする日本人大学院生に依頼した。

入力したものを、次の順で一語を一行に、表にした。ひとつは、〈画数→部首→見出し語→読み→英語意味〉の順である。最初にひらがな、カタカナではじまる語をアイウエオ順に並べ、次に画数の少ない順に部首毎に見出し語を並べた。

たとえば、「背甲」という見出し語の場合、

9 / 月 / 背甲 / はいこう / carapace
となる。実際には表1の通りである。

もうひとつは、〈英語意味→見出し語→読み〉という順である。同じ例で示せば、

carapace / 背甲 / はいこう
となる。実際には表2の通りである。

(表1)

画数	部首	漢字	読み	英語意味
9	月	背こけ病	せこけびょう	sekoke disease (muscular dystrophy)
9	月	背甲	はいこう	carapace
9	月	肺胞移動	はいほういどう	germinal vesicle migration
9	月	肺胞崩壊	はいほうほうかい	germinal vesicle breakdown
13	土	塩分躍層	えんぶんやくそう	halocline
13	土	塩類細胞	えんるいさいぼう	chloride cell
13	土	塩辛	しおから	Shiokara (salted and fermented seafood)

(表 2)

英語意味	漢字	読み
capsule	夾膜	きょうまく
carapace	頭胸甲	とうきょうこう
carapace	背甲	はいこう
carp	鯉	こい

また、1～2ページ目には使い方の説明と各画数毎にそこにあらわれる部首を表にしてのせた。

収録語彙数は、『水産学用語辞典』の収録語数と同じ1586語である。

3. 使用方法

用語集を配布する際には、以下のような使用方法の説明を行った。

- ① 専門の言葉で読めないものがあつたら、まず、その最初の漢字だけに注目してください。たとえば「背甲」を調べるには、最初の漢字の「背」に注目します。
- ② その漢字の画数を数えてみましょう。数え方に自信がなくて、9か10かわからなくても大丈夫です。9か10どちらかということがわかればいいのです。
- ③ まずどちらかに決めて、探してみましょう。見つけることができなかつたら、もう一方の画数で探すことにします。
- ④ 漢字の部首はどれでしょうか。「北」か「月」でしょうか。画数9の漢字の部首表を見てください。部首表に「北」という部首はありません。部首表に「月」はあります。9画の「月」の部首を持つ語は、12あります。この12の見出し語のなかに「背甲」があります。
- ⑤ これは「はいこう」と読み、「carapace」であることがわかります。
- ⑥ もし9画で探してなかつたら、10画で同じようにして探してください。

留学生センターで日本語予備教育を受けた学生たちは、コースの中の漢字クラスで、辞書を使って、画数と部首から漢字を探す練習をしているので、すぐに使い方の説明を理解した。その他の学生も、多少なりと

も漢字に触れている学生は、説明を理解するのに困難はなかつたようである。はじめのうち、画数や部首がわかりにくかつたら、回りの日本人に助けてもらうようアドバイスをした。

4. 留学生の意見

作成したものを配布するにあたって、水産を専攻する留学生に一律に配布するという方法はとらなかつた。まだ、試行段階であることを考慮し、口コミで、このようなものを使ってみたいと考えた学生が自発的にもらいにくればと考え、まず、留学生センターに出入りしている二人の学生に渡し、他の留学生にも見せてほしいこと、使ってみて意見を聞かせてほしいことを伝えた。現在、約20名の学生の手へ渡つた。学生の出身国は、インドネシア、マレーシア、パナマ、バングラディシュ、中国、カンボジア、タイ、インドなどである。

まだ、配布を初めて日が浅く、評価をアンケート調査などで統計的に報告をすることはできないが、今後改善すべき点として現段階で指摘されていることは、以下の通りである。

- ① ページが入っているほうがいい。
- ② 部首の一覧表だけでなく、それぞれの画数の漢字一覧があると便利だ。
- ③ 漢字一覧にその漢字が出ているページもあわせて示してあるとわかりやすい。
- ④ アイウエオ順に読み、漢字、英語の意味が示されているものもあると、発表などを耳で聞いて、わからなかつた言葉を調べることができる。
- ⑤ 主な水産関係の動物や植物の学名、和名、英語名がリストになっているといい。
- ⑥ 他の専門のものもほしい。

また、自分なりに日英対応で、読み方付きの語彙集を作っている学生からは、「改訂するときには私が作

ったものも加えてください」という申し出もあった。

5. 終わりに

長崎大学の水産を専門とする教官に、留学生のための水産の辞書の作成を相談したときに、次のようなアドバイスを受けたことがある。

「水産といっても領域はかなり広く、必要な専門用語を選び出し辞書を作ったとしても、その労力に見合うほどは役に立たないだろう。留学生が必要な専門の用語はそう多くはなく、その都度、研究室の日本人にでも教えてもらって覚えることができるし、英語を使うことも多いから、留学生のための辞書を作るのは現実的ではない」

日本人でも、専門の辞書の使用頻度はあまり高くないかもしれない。また、調べる語も人によって偏りがあり、限られてもいるだろう。一度調べて覚えれば、同じ語をくり返しひくということもないかもしれない。しかし、だからといって、辞書の必要性が低いというわけではない。

留学生たちの「必要なときに、自分で、漢字の読みを調べたり、意味を調べたりしたい」という願いにこの用語集は役に立っているようだ。自分で調べる経験を積むことによって、漢字を分析する力も増し、漢字を理解することにもつながるのではないだろうか。

今後もうしばらくは学生たちの意見を収集し、すでに指摘されていることとあわせて、改善に取り組

んでいきたいと考えている。すでに指摘されていることのうち上記4の①～④はすでに改善に取りかかっている。⑤については、『水産学用語辞典』の巻末にリストがあり、この場合の和名はすべてカタカナで書かれているので、新たに作成する必要はないと思われる。また、⑥の「他の専門の辞書」は、今後の課題としたい。

注

- 注1 このインタビュー調査については、守山他：留学生の求めていること－研修コース修了生インタビュー調査報告－，長崎大学留学生センター紀要，第8号，pp1～30，(2000) で報告している。
- 注2 このアンケート調査は1999年度末に行い、現在報告書を作成中である。
- 注3 創医学会学術部主編：漢方用語大辞典，燎原（1984）
- 注4 日本水産学会編：水産学用語辞典，恒星社厚生閣（1989）
- 注5 長崎大学の留学生のうち約2割、40余名が水産を専門としている。

著者紹介

守山恵子：長崎大学留学生センター講師【経歴】1978年国際基督教大学教養学部卒、1996年長崎大学教育学研究科修士課程修了【専門】日本語教育・国語学

英文要旨

International students studying in Japan have often difficulties reading Kanji characters, especially those Kanjis used in technical words. Fishery major international students studying at Nagasaki University are not the exception. To help them find how to read a certain technical word, "fishery word list" was prepared. All the words from *Suisangaku Yougo Jiten* were listed according to the number of strokes and the radical of the first kanji of each word. Without knowing how to read, one can find a certain word, its reading, and also its English translation by counting strokes of its first kanji and recognizing its radical. A word list in English is also attached and one can find how to read a certain word in Kanji from its English translation. Those international students who have been using this "word list" have valued it highly.